

整理番号		212 事務事業評価表 令和5年度実施事業				部 長	課 長	係 長	担当者

事業名	道路施設等維持管理事業				担当課	維持管理課				
基本目標	5	便利で快適に暮らせるまち				担当係	維持保全係			
施策項目	2	道路・公共交通				計画期間	令和5年度 ～ 令和7年度			
主な取組	1	市道の整備				事業区分	一部委託			
予算科目	会計	款	項	目	大 事 業					
	1	8	2	2	道路施設等維持管理事業					
目的と方針【PLAN】	市民の利便性・安全性の向上と様々な分野における市の発展可能性の拡大に向け、道路網の計画的な整備、持続可能な公共交通網の形成を進めます。									
事業概要【PLAN】	・道路法42条により、道路を常時良好な状態に保つように維持修繕し、もって一般交通に支障を及ぼさないように努めます。 ・夜間の交通安全と防犯に配慮し、安全な地域社会を目指します。 ・生活に密着した道路整備を促進し、安全・安心な街づくり及び良好な住環境の形成を目指します。									
対象【PLAN】	道路施設等利用者				意図【PLAN】	道路施設等利用者が、安全で安心な施設利用ができる状態とする。				
意図の実現のために必要なこと【PLAN】	限られた予算の中で、数多くの要望を解決する必要がある。そのため、要望内容の精査を行い実施等の可否や過去の要望も含めた進捗管理表の作成を行う。									
事業費【D0】		年度		04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度	
		単位		(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)	(予算)	
財 源 内 訳	国庫支出金	千円		7,660	6,743	121,784				
	都道府県支出金	千円		0	0	0				
	地方債	千円		6,300	5,600	153,100				
	その他	千円		169,128	169,444	187,748				
	一般財源	千円		142,127	107,686	99,124				
事業費合計		千円		325,215	289,473	561,756				
(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】										
指標名		単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	
市道の舗装率		%	実績値が目標値以上となること	目標値	58.0	58.5	59.0	59.5	60.0	
				実績値	58.3					
				達成率	100.0%					
(2) チェック項目による評価【CHECK】										
	評価視点				評価の結果					
必要性	・市民ニーズについてどうか ・社会的需要についてどうか ・事務事業の優先度については高いものであるか				通常の修繕依頼件数については、R4年度約600件・R5年度約900件と依然として高い水準であることから、市民ニーズ、社会的需要について高い事業である。					
有効性	・施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・市民満足度についてはどうか ・社会貢献度についてはどうか				市民ニーズが日々変化していることを念頭に置き、町内会長等の地域代表者から直接の声を聴くことは有効だと考えている。					
効率性	・費用を抑える工夫は行ったか ・時間を削減する工夫は行ったか ・当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか				・現場管理等を最小限にとどめ、費用の圧縮を図った。 ・発注方法を見直したことにより、現場着手までの事務軽減を図った。					
(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】										
今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など			・発注方法の変更により、費用の圧縮、時間の低減、事務の簡素化が図られた。 ・市民ニーズの変化により、過去の要望内容が現在も同様であるとは限らないため、過去要望内容を含めた整理が必要である。					

整理番号
213

事務事業評価表
令和５年度実施事業

部 長	課 長	係 長	担当者

事業名	道路新設改良事業				担当課	建設課
基本目標	5	便利で快適に暮らせるまち			担当係	建設係
施策項目	2	道路・公共交通			計画期間	令和５年度 ～ 令和７年度
主な取組	1	市道の整備			事業区分	直営
予算科目	会計	款	項	目	大事業	
	1	8	2	3	道路新設改良費	

目的と方針【PLAN】	市民の利便性・安全性の向上と様々な分野における市の発展可能性の拡大に向け、道路網の計画的な整備、持続可能な公共交通網の形成を進めます。					
-------------	---	--	--	--	--	--

事業概要【PLAN】	伊達市内の道路整備により道路ネットワークの充実を図ります。					
------------	-------------------------------	--	--	--	--	--

対象【PLAN】	市民（道路利用者）	意図【PLAN】	道路等の整備により、安全安心な交通網の確保			
----------	-----------	----------	-----------------------	--	--	--

意図の実現のために必要なこと【PLAN】	道路利用者が円滑に通行できる道路を整備する。 事業に必要な用地を確保する。					
----------------------	--	--	--	--	--	--

事業費【D0】		年度		04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位		(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
財 源 内 訳	国庫支出金	千円		86,009	121,686	49,140			
	都道府県支出金	千円		0	0	0			
	地方債	千円		271,600	328,600	90,300			
	その他	千円		13,758	18,702	13,404			
	一般財源	千円		6,597	1,394	7,193			
	事業費合計	千円		377,964	470,382	160,037			

（１）伊達市第３次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
市道の改良率	%	実績値が目標値以上となること	目標値	96.5	100.0	100.0	100.0	100.0
			実績値	98.7	100.0			
			達成率	100.0%	100.0			

（２）チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	・市民ニーズについてどうか ・社会的需要についてどうか ・事務事業の優先度については高いものであるか	伊達市内の道路整備により道路ネットワークの充実を図る必要があるため、社会的需要及び事業としての優先度は高い。
有効性	・施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・市民満足度についてはどうか ・社会貢献度についてはどうか	道路等の整備により安全安心な交通網の確保を図るため、事業効果は高い。
効率性	・費用を抑える工夫は行ったか ・時間を削減する工夫は行ったか ・当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか	道路新設改良事業の補助制度は、社会資本整備総合交付金を活用し行っている。

（３）今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	地域住民の円滑な交通の確保と利便性向上を図るため、道路改良事業を行っている。
--------	----	-------------------------	--

事務事業評価表
令和5年度実施事業

部 長	課 長	係 長	担当者

事業名	道路事業推進団体等参画事業					担当課	建設課
基本目標	5	便利で快適に暮らせるまち				担当係	用地企画係
施策項目	2	道路・公共交通				計画期間	令和5年度 ～ 令和5年度
主な取組	2	国・県道の整備				事業区分	直営
予算科目	会計	款	項	目	大事業		
	1	8	1	1	土木諸費		

目的と方針 【PLAN】	市民の利便性・安全性の向上と様々な分野における市の発展可能性の拡大に向け、道路網の計画的な整備、持続可能な公共交通網の形成を進めます。	
-------------------------	--	--

事業概要 【PLAN】	国道の改良や拡幅、歩道整備、県道の改良や拡幅、バイパス整備など、国・県道の整備を関係機関に要請します。
----------------	--

対象 【PLAN】	国、県	意図 【PLAN】	国道の改良や拡幅、歩道整備、県道の改良や拡幅、バイパス整備など国、県道の整備を関係機関に要請する。
--------------	-----	--------------	---

意図の実現のために必要なこと【PLAN】	国、県に対する要望活動
----------------------	-------------

事業費【D0】		年度 単位	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
			(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
財 源 内 訳	国庫支出金	千円	0	0				
	都道府県支出金	千円	0	0				
	地方債	千円	0	0				
	その他	千円	0	0				
	一般財源	千円	578	524				
	事業費合計	千円	578	524				

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
国・県に対する要望	回	実績値が 目標値 以上と なること	目標値	11				
			実績値	13				
			達成率	100.0%				

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	・ 市民ニーズについてどうか ・ 社会的需要についてどうか ・ 事務事業の優先度については高いものであるか	伊達市内の道路整備により道路ネットワークの充実を図る必要があることから、市民ニーズ、社会的需要及び事業としての優先度は高い。
有効性	・ 施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・ 市民満足度についてはどうか ・ 社会貢献度についてはどうか	要望活動を継続していくことにより、事業化が図られている。
効率性	・ 費用を抑える工夫は行ったか ・ 時間を削減する工夫は行ったか ・ 当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか	他の要望活動と予算を統合することにより、事務効率化が図れる。

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の 方向性	統合	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	令和6年度当初より他の要望活動と予算を統合して、事務効率化を図った。
------------	----	-------------------------	------------------------------------

整理番号
215

事務事業評価表

令和5年度実施事業

部 長	課 長	係 長	担当者

事業名	橋梁維持管理事業				担当課	維持管理課
基本目標	5	便利で快適に暮らせるまち			担当係	維持保全係
施策項目	2	道路・公共交通			計画期間	令和5年度 ～ 令和7年度
主な取組	3	橋梁等の長寿命化			事業区分	全部委託
予算科目	会計	款	項	目	大事業	
	1	8	2	4	橋梁維持管理事業	

目的と方針【PLAN】	市民の利便性・安全性の向上と様々な分野における市の発展可能性の拡大に向け、道路網の計画的な整備、持続可能な公共交通網の形成を進めます。		
事業概要【PLAN】	橋梁の点検及び修繕を実施し、円滑で安全な交通の確保を図る事業。		
対象【PLAN】	橋梁利用者	意図【PLAN】	橋梁利用者が、安全で安心な施設利用ができる状態とする。
意図の実現のために必要なこと【PLAN】	限られた予算の中で、計画的に橋梁点検及び修繕を行う必要がある。そのため、長期と短期の計画を作成し計画的に事業実施を行う必要がある。		

事業費【D0】		年度		04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位		(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
財 源 内 訳	国庫支出金	千円		51,024	21,099	62,290			
	都道府県支出金	千円		0	0	0			
	地方債	千円		34,000	9,000	25,700			
	その他	千円		0	0	2,934			
	一般財源	千円		26,999	9,346	20,076			
	事業費合計	千円		112,023	39,445	111,000			

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】								
指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
橋梁の修繕率	%	実績値が目標値以上となること	目標値	16.7	22.2	27.8	36.1	44.4
			実績値	16.7				
			達成率	100.0%				

(2) チェック項目による評価【CHECK】		
	評価視点	評価の結果
必要性	・ 市民ニーズについてどうか ・ 社会的需要についてどうか ・ 事務事業の優先度については高いものであるか	定期点検においては、道路法施行規則に基づく法定点検であることから実施する必要がある。
有効性	・ 施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・ 市民満足度についてはどうか ・ 社会貢献度についてはどうか	毎年、定期点検を実施していることから、計画においても毎年更新し、フレキシブルな計画見直しが重要である。
効率性	・ 費用を抑える工夫は行ったか ・ 時間を削減する工夫は行ったか ・ 当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか	現在2巡目点検であることから、点検内容を必要最小限にとどめることにより費用の圧縮を図った。

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】			
今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	・ 点検内容を最小限にとどめ費用の圧縮を図った。 ・ 最新点検内容を現行計画に取入れ計画の見直しを実施する必要がある。

整理番号
216

事務事業評価表
令和５年度実施事業

部 長	課 長	係 長	担当者

事業名	除排雪対策事業				担当課	維持管理課
基本目標	5	便利で快適に暮らせるまち			担当係	管理調整係
施策項目	2	道路・公共交通			計画期間	令和５年度 ～ 令和７年度
主な取組	4	除排雪体制の充実			事業区分	一部委託
予算科目	会計	款	項	目	大事業	
	1	8	2	2	道路維持費	

目的と方針【PLAN】	市民の利便性・安全性の向上と様々な分野における市の発展可能性の拡大に向け、道路網の計画的な整備、持続可能な公共交通網の形成を進めます。					
-------------	---	--	--	--	--	--

事業概要【PLAN】	市道の除雪を実施し、冬期の安全な道路交通を確保します。					
------------	-----------------------------	--	--	--	--	--

対象【PLAN】	市民（道路交通）	意図【PLAN】	市道の除雪により、安全な道路交通を確保する。			
----------	----------	----------	------------------------	--	--	--

意図の実現のために必要なこと【PLAN】	積雪の情報収集を行い、適切な除雪作業を実施する。 総合支所、学校、交流館へ小型除雪機を配置し、貸出体制を維持する。					
----------------------	--	--	--	--	--	--

事業費【D0】		年度		04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位		(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
財 源 内 訳	国庫支出金	千円		0	0	0			
	都道府県支出金	千円		0	0	0			
	地方債	千円		0	0	0			
	その他	千円		0	0	0			
	一般財源	千円		26,751	3,068	8,299			
	事業費合計	千円		26,751	3,068	8,299			

2140

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
小型除雪機の保有台数	台	実績値が目標値以上となること	目標値	41	41	41	41	41
			実績値	41				
			達成率	100.0%				

(２) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	・市民ニーズについてどうか ・社会的需要についてどうか ・事務事業の優先度については高いものであるか	市道除雪は、市民の要望に合致している。 小型除雪機配置は、安全な道路交通確保に必要とされている。
有効性	・施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・市民満足度についてはどうか ・社会貢献度についてはどうか	市道除雪により、道路交通の安全が保たれている。 小型除雪機配置により、市民の安心に繋がっている。
効率性	・費用を抑える工夫は行ったか ・時間を削減する工夫は行ったか ・当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか	部分的なエリアの除雪においては、直営による除雪体制とした。 積雪の調査を行い、必要に応じた除雪を行った。 小型除雪機の事前点検により、貸出要望に即応できる体制を整えた。

(３) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	適切な除雪体制を維持し、道路環境の維持に努める。
--------	----	-------------------------	--------------------------

整理番号						部 長	課 長	係 長	担当者
217		事務事業評価表 令和５年度実施事業							

事業名	新多目的交通システム事業				担当課	生活環境課				
基本目標	5	便利で快適に暮らせるまち				担当係	生活交通係			
施策項目	2	道路・公共交通				計画期間	令和５年度 ～ 令和７年度			
主な取組	5	公共交通の充実				事業区分	補助			
予算科目	会計	款	項	目	大事業					
	1	2	1	8	新多目的交通システム事業					
目的と方針【PLAN】	市民の利便性・安全性の向上と様々な分野における市の発展可能性の拡大に向け、道路網の計画的な整備、持続可能な公共交通網の形成を進めます。									
事業概要【PLAN】	高齢者等の移動手段の確保と商店街の活性化を図るため、低定額料金を設定した電話予約によるデマンド型乗合交通手段を提供する事業実施主体へ補助を行います。									
対象【PLAN】	まちなかタクシーを利用している人、利用したいと考えている人				意図【PLAN】	日常の交通手段としてまちなかタクシーを利用し、目的地へ移動することができる。				
意図の実現のために必要なこと【PLAN】	利用しやすくするために、分かりやすい予約方法や運賃等運行体系の構築する必要がある。									

事業費【D0】		年度		04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位		(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
財 源 内 訳	国庫支出金	千円		0	0	0			
	都道府県支出金	千円		9,468	8,453	9,607			
	地方債	千円		0	0	0			
	その他	千円		0	0	0			
	一般財源	千円		62,876	84,324	90,139			
事業費合計		千円		72,344	92,777	99,746			

(１) 伊達市第３次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】								
指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
まちなかタクシー利用者数	人	実績値が目標値以上となること	目標値	54,038	54,038	54,038	54,038	54,038
			実績値	54,029				
			達成率	99.9%				

(２) チェック項目による評価【CHECK】		
	評価視点	評価の結果
必要性	・市民ニーズについてどうか ・社会的需要についてどうか ・事務事業の優先度については高いものであるか	デマンド交通は、路線バスや鉄道では対応できない場所を面的にカバーしていることから、高齢者を中心にニーズが高い。そのため、日常生活の足の確保のため、路線維持は必要不可欠であり、優先度は高い。
有効性	・施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・市民満足度についてはどうか ・社会貢献度についてはどうか	令和６年度より、料金統一を図ることで、利用者にわかりやすく、より利用しやすい交通機関となり、市民満足度の向上や利用者の増加が期待できる。
効率性	・費用を抑える工夫は行ったか ・時間を削減する工夫は行ったか ・当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか	料金統一を図ることにより、利用者の増加につながっていく。また、利便性向上(一本化)を進めており、効率的な事業を目指している。

(３) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】		
今後の方向性	改善	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など 市民の利便性向上や、より高い満足度を得て利用者の増加につながるよう、関係団体との協議を重ね、300円の料金統一が可能となった。分かりやすい運行エリアへの見直しなどの検討が必要である。

整理番号
218

事務事業評価表

令和5年度実施事業

部 長	課 長	係 長	担当者

事業名	阿武隈急行支援事業					担当課	生活環境課					
基本目標	5	便利で快適に暮らせるまち					担当係	生活交通係				
施策項目	2	道路・公共交通					計画期間	令和5年度　～　令和7年度				
主な取組	5	公共交通の充実					事業区分	補助				
予算科目	会計	款	項	目	大事業							
	1	2	1	8	阿武隈急行支援事業							
目的と方針【PLAN】	市民の利便性・安全性の向上と様々な分野における市の発展可能性の拡大に向け、道路網の計画的な整備、持続可能な公共交通網の形成を進めます。											
事業概要【PLAN】	阿武隈急行が地域の公共交通機関として安全に運行ができるように、緊急保全整備事業や車両更新等に要する経費について補助を行います。											
対象【PLAN】	阿武隈急行を利用する人、利用したいと考えている人				意図【PLAN】		阿武隈急行利用者が日常の交通手段として阿武隈急行線を利用することができる。					
意図の実現のために必要なこと【PLAN】	阿武隈急行線を安全・安心で適正なダイヤで運行を維持するため、沿線自治体で支援を実施していく。											
事業費【D0】		年度		04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度			
		単位		(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)	(予算)			
財源内訳	国庫支出金	千円		0	0	0						
	都道府県支出金	千円		0	0	0						
	地方債	千円		98,500	107,000	143,600						
	その他	千円		0	0	0						
	一般財源	千円		97	48,587	51,451						
	事業費合計	千円		98,597	155,587	195,051						
(1)伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】												
指標名		単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度			
阿武隈急行線乗車数（市内10駅）		人	実績値が目標値以上となること	目標値	593,682	587,745	581,868	576,049	570,280			
				実績値	416,923							
				達成率	70.2%							
(2)チェック項目による評価【CHECK】												
	評価視点					評価の結果						
必要性	・市民ニーズについてどうか ・社会的需要についてどうか ・事務事業の優先度については高いものであるか					車を持たない市民や通勤・通学の移動手段として重要な交通機関である。路線を存続するためには、沿線自治体の支援が必要であることから優先度は高い。						
有効性	・施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・市民満足度についてはどうか ・社会貢献度についてはどうか					目標を達成するため、沿線自治体での支援や乗降者数の分析をはじめ、課題を解決するための有効な取組を行っている。						
効率性	・費用を抑える工夫は行ったか ・時間を削減する工夫は行ったか ・当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか					利用者の減少により、沿線自治体による費用負担は年々増加している。費用負担を抑えるためには利用者を増やすことが重要であり、効果的な利用促進策など沿線自治体と検討・実施している。						
(3)今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】												
今後の方向性	改善	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など			各沿線自治体で協調した支援を続けているが、利用者の全面的な回復には至っておらず、利用者はいまだ減少している。在り方検討会をはじめとする各種会議で協議を継続しながら、利用者を増やす取組を実施していく必要がある。							

事務事業評価表
令和5年度実施事業

部 長	課 長	係 長	担当者

事業名	バス路線事業					担当課	生活環境課	
基本目標	5	便利で快適に暮らせるまち				担当係	生活交通係	
施策項目	2	道路・公共交通				計画期間	令和5年度 ～ 令和7年度	
主な取組	5	公共交通の充実				事業区分	補助	
予算科目	会計	款	項	目	大事業			
	1	2	1	8	バス路線運行事業			

目的と方針 【PLAN】	市民の利便性・安全性の向上と様々な分野における市の発展可能性の拡大に向け、道路網の計画的な整備、持続可能な公共交通網の形成を進めます。	
-------------------------	--	--

事業概要 【PLAN】	少子高齢化社会の進行等により輸送人員が減少し、地域住民の生活に必要なバス路線の維持が困難になっているため、広域路線に対し、関係自治体と協調して補助を行います。
----------------	--

対象 【PLAN】	バスを利用する人、利用したいと考えている人	意図 【PLAN】	バス利用者が日常の交通手段として路線バスを利用することができる。
--------------	-----------------------	--------------	----------------------------------

意図の実現のために必要なこと【PLAN】	路線バスが利用者の利用実態に合わせた運行ができるよう沿線自治体及び交通事業者と検討していく。
----------------------	--

事業費【D0】		年度 単位	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
			(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
財 源 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0			
	都道府県支出金	千円	2,813	2,228	2,280			
	地方債	千円	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0			
	一般財源	千円	63,168	90,121	88,225			
	事業費合計	千円	65,981	92,349	90,505			

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
バス利用者数	人	実績値が目標値	目標値	857,127	848,556	840,070	831,670	823,353
		以上と	実績値	720,478				
		なること	達成率	84.1%				

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	・ 市民ニーズについてどうか ・ 社会的需要についてどうか ・ 事務事業の優先度については高いものであるか	車をもたず鉄道駅も遠い市民や通勤・通学の移動手段としてバスの利用ニーズは高い。日常生活の足の確保のため、路線維持は必要不可欠であり、優先度は高い。
有効性	・ 施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・ 市民満足度についてはどうか ・ 社会貢献度についてはどうか	学校の統廃合や商業施設の開業等、市民の活動状況やニーズの変化に対応し、利用実態に合った運行が有効である。
効率性	・ 費用を抑える工夫は行ったか ・ 時間を削減する工夫は行ったか ・ 当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか	利用者はコロナ禍に比べ回復傾向にあるが、物価高騰などの社会情勢もあり、補助額が増加してきている。そのため、福島県地域公共交通計画の策定などの取組を行っている。

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の 方向性	改善	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	既存路線・計画路線共に、関係団体と協議を続けながら、利用実態に合った運行を検討していくことが課題である。
------------	----	-------------------------	--